

笑顔で会える学校

豊能町立吉川中学校 学校だより



令和4年8月31日

体育大会に向けて動き出しました！

8月25日の始業式の日、2学期のスタートと同時に、9月22日の体育大会に向けて本格的に動き出しました。その日の4時間目に「結団式」を行い、大会に向けての機運を高めました。

今年度は全学年が2クラスということもあり、「赤団」と「青団」の2団に分けての大会実施となります。結団式では、3年生を中心に両団とも応援団長をはじめ団員等の自己紹介があり、その後の決意表明では、短時間でのパフォーマンス合戦を行い、互いの意気込みをぶつけ合いました。両団とも3年生が短い準備時間の中で1、2年生を指導し、工夫したパフォーマンスを見せてくれました。

これから体育大会に向けて、本格的に練習が始まっていきます。当日の応援合戦に向けての両団の練習も進んでいくことでしょう。吉中生のパワーが爆発してくれることを期待しています。これからの練習を通じて、クラスの団結、学年を超えた結束がどんどん深まってほしいと思います。ガンバレ吉中生！



この夏、平和学習に取り組んで

1学期末の学校だよりでもお伝えしたように、1学期の終業式の日には全校で「平和学習」に取り組みました。ウクライナでの戦争が依然として続く中、いつもの年以上に「平和の尊さ」をかみしめ、平和を維持するために何ができるのかを自分事として考えてほしいという思いで、私も終業式には平和の尊さや命の大切さについての話をしました。

終業式の日、3年生が1、2年生の教室を訪ね修学旅行で学んだことの報告をしたり、全校で平和について学んだりしたことについて、みなさんが書いた感想の一部を紹介します。



○ガマの中に逃げ込んでそこに火炎放射器や爆弾を投げこまれた

りしているの、安全な場所はないということを知りました。そんな中でも、必死に逃げて、生きようとする方々はどれほど苦しい思いをしたのかはわかりませんが、それが「どれほど恐ろしいか」ということはちゃんと知り、色々な人に伝えていかないといけないと思いました

○戦争を経験した人の生の感想を聞くのは、自分にとっての一番身近な戦争についての体験になると思った。戦争は意見のぶつかり合い、それをお互いに制しようとしているから起きてしまうこと。だから、それぞれが自分たちやお互いのことを冷静に考えあう余裕が必要なのかなと感じた。

○軍人がどんな気持ちで赤ん坊をうったのか、「戦争は人を人でなくする」の言葉がすごく当てはまると思います。

○当時は、今みたいに平和を教えることよりも学校でも軍国主義的なことを教育させていたので、少年たちの中には兵隊になることを不思議に思わず、なんなら勝ってみせると信じている人がたくさんいたと思います。今の時代ならそのような考えになんで？と思えるけど、それは今が平和な時代だからであって、過去にはそのような感情のない時代があったんだと思うと、私はどれだけ幸せなのか、当時の人はどれほど頑張ってくれたのかが痛いほどわかりました。

○沖縄で当時、どのようなことがあったのかというのを修学旅行で学んだ僕たちだからこそわかるものも多くありました。平和宣言で、「銃を持った人間の前には、家族も友人も愛も幸福も全てが一瞬にして消えてしまう」というような言葉があったと思います。沖縄戦では、米軍が上陸してきているわけなので、直接銃を向けられてしまうこともあったと思います。その時にはもう自分が自分でなくなってしまうと思います。そのようなことになるまで人々を追い込んでしまった戦争は怖い、恐ろしいという言葉だけでは表せないほどだと感じました。戦争を起こしてしまうのは人間だけど、その起こってしまった戦争を止められるのも人間だけです。なので今回の沖縄で見て学んできたことを生かしてより平和について考えることができたと思いました。

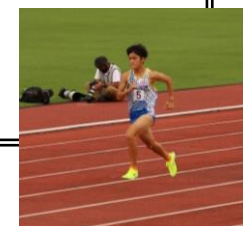


全国大会に出場しました！

陸上部の3年1組 ○○○○さんが、8月20日（土）に男子1500Mで全国大会に出場しました。陸上部顧問の○○先生に、コメントをもらいました。

全国大会の出場が決まってから、たくさんの応援の言葉をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。結果は決勝進出とはなりませんでした。全国の速い選手に果敢にチャレンジして走りぬくことができました。

今の中学3年生は入学したときから感染症の影響により多くの制限を受けてきました。そんな中で人が見ていないところでの努力が今回叶ったと思います。吉川中学校として、今回の○○くんが続いて、より多くの選手が活躍していけるよう部活動を盛り上げていきましょう。



「校長室から出題です」

【スタンプ20個達成者】

○○ ○○ 先生



HP
アクセスコード